



さいたま市議会議員（1期目）

新人の目、市民の視線を大切に！

佐伯かずみ

市議会レポート（活動報告）NO.16



元気なチームさいたま市を目指します！

コロナ禍でいろいろな問題の本質が露呈したと感じます。佐伯加寿美は身近な問題からしっかりと取り組んでまいります。

会派報告会開催しました！～初のオンライン開催～

11月7日(土)14時から16時

例年、会派報告会を行っていましたが、このコロナ禍で延期となっており、1年半ぶりの開催となりました(私は1期生なので今回が初参加です)。感染症拡大防止から今回はリアル参加無しとしてzoomを使いオンラインで行いました。

前半は新たに入った議員3人(西区出雲けいこ、岩槻区松本翔、私、大宮区佐伯加寿美)を含めて会派メンバー17人の紹介。その後常任委員会(5委員会)の報告をしました。私は文教委員会の報告をしました。



後半は講師に伊関友伸氏をお招きし、「新型コロナウイルスとさいたま市の医療」と題しての講演、その後対談・質疑応答をおこないました。

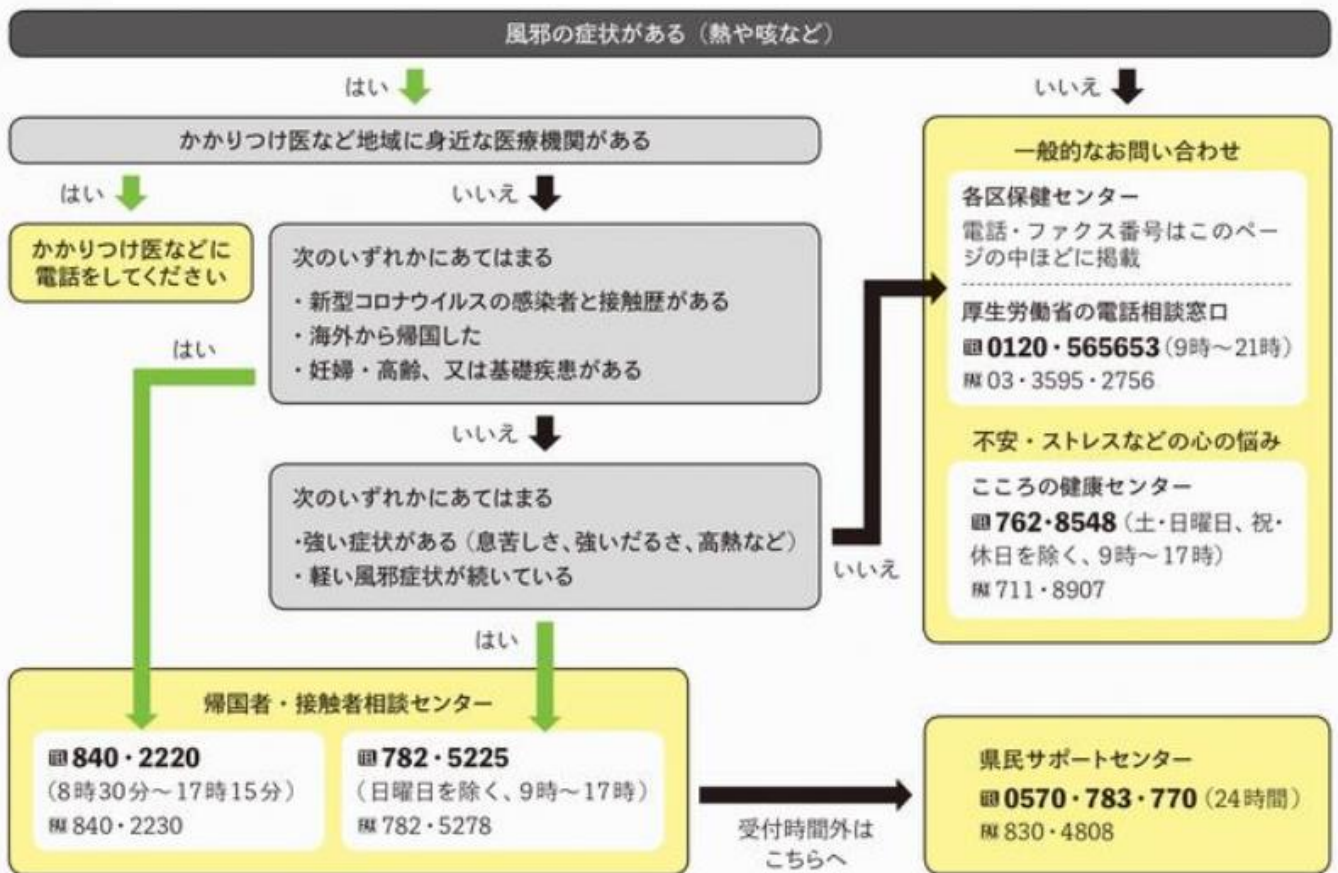
新自由主義的な医療政策で、ベッド数の削減や病院の統廃合が今回のこのコロナ禍での医療体制の圧迫、医療崩壊を招いたこと。コロナで赤字の病院が増えており、特にコロナ患者を受け入れ、もしくは受け入れ準備をした病院の経営状況は8割が赤字となっています。

●城西大学経営学部教授 伊関友伸氏

そして、今後小児科や病児保育が減ってしまう危機に直面するだろうと伊関氏は警鐘を鳴らします。埼玉県の人口当たりの医師数は全国ワースト1位です。過去に県立病院が廃院となり、また医師派遣を都内の医科大学に頼っていたため、医師研修機能が弱いということ指摘しました。200床以上の病院を増やすためには医師の確保と研修が必要です。将来のさいたま市の医療提供の安定化のために今は投資の時期であると訴えました。

先生の講演内容は2週間程度のYoutubeアップを予定しています(→公開は民主改革さいたま市議団のHPで後日お知らせいたします)。

さいたま市コロナ相談窓口へのフローチャート(さいたま市HPに掲載あり)



◎佐伯かずみに教えてください。

あなたのモヤモヤや心配事、市政への疑問点などをお聞かせください。調べて参ります!

市の情報や私の活動も随時流しています。右のQRコードからLine@で、ぜひお友達登録してくださいね。



佐伯かずみプロフィール

実践女子学園中学・高校、成蹊大学卒。防災士。早稲田大学スポーツ科学部非常勤講師。趣味:インディアカというレクリエーションスポーツ
転勤族の妻として息子2人(芝川小・第二東中卒)を育てる。大宮在住29年
大宮は第二の故郷。みたらし団子とおせんべいが好き!